

別紙4 受賞者概要

市 町 村：小国町

タイトル：山間地を支える持続可能な農業の実践者

～夫婦二人三脚で白い森おぐにの農業を牽引～

氏名(集団名)：山口満

1 受賞者の概要

小国町東部の大石沢地区において、有機栽培を中心とした環境負荷軽減に配慮した先駆的な取組で高付加価値米を生産するなど、高い技術力で地域農業を牽引してきた。現在は、水稻692aを中心に、収益の高いそば60a、雑穀40a、アスパラガス20aを作付けしている。小国町農業委員に加え、多面的機能支払交付金事業の活動組織の会長職を歴任するなど、地域農業への貢献度は極めて高い。

2 特色ある活動

(1) 消費者の需要に対応した有機栽培等による米生産で収益確保

生産条件が不利な山間地域における収益確保対策の一環として、就農間もない時期から環境負荷軽減に配慮した取組を実践し、有機栽培等で生産された米を求める消費者の需要に応じて直接販売を行うことで収益につなげてきた。

(2) 地域環境に適した作物の栽培と販路確保

山間地域の特色を生かした雑穀の集約栽培を行い、妻ひとみ氏のマーケティング力を活かして販路を拡大して経営の柱の一つにしている。そばでは、希少品種「まぼろし」を地域の農家と栽培技術を磨きながら生産し、地元そば店と契約を結び需要に応じた安定供給を行っている。

(3) 町内における6次産業化の模範的取組と食育活動への支援

ひとみ氏が代表を務める企業組合「旬彩工房」に雑穀を供給し、菓子等製造販売の6次産業化の取組を支援しており、地域農業ビジネスの模範となっている。また、ひとみ氏が実施している町内保育園を中心とした食育活動も支援している。

(4) 地域の農地保全、農業の活性化を推進

小国町農業委員会や多面的機能支払交付金事業の活動組織の会長職を歴任し、地域全体の農地保全や農業の維持に取り組んでいる。あわせて、「お試し滞在」等の体験活動や農作業体験の受け入れを通し、新たな人材確保等に尽力している。

3 今後の発展方向

地域環境を活かした楽しみながら取り組める農業を実践し、地域全体の経営発展を実現していく。また、企業組合「旬彩工房」による女性の力を活かした6次産業化と食文化の伝承を支援していく。



平成24年、夫妻は新嘗祭に精粟を献敬



体験活動を受入れて人材育成に尽力